

概要

CDE は、ダクトやチャンバー内の CO<sub>2</sub> 濃度を検出し、計測や制御に使用される CO<sub>2</sub> センサです。  
室内環境の快適化制御や省エネルギー制御などに使用されます。

特長

- 非分散型赤外線方式 (NDIR) により、高精度で長期安定性に優れた計測を行います。
- 特許取得の自己校正機能により、ドリフトの補正を自動的にを行い、長期間のメンテナンスフリーを実現します。
- 専用のガスケットにて、現場でのゼロ点校正が行えます。  
(推奨: 約 5 年周期)
- 出力信号は、DC4~20mA/0~10V があり、スイッチにて選択できます。



CDE

仕様

表 1. 型式構成表

型式	内容
CDE	ダクト挿入形 CO <sub>2</sub> センサ

表 2. 仕様表

型式		CDE
項目		
計測方式		非分散型赤外線方式 (NDIR)
計測範囲		0~2000ppm
計測精度		±30ppm ±計測値の 5%
再現性		±20ppm ±計測値の 1%
応答時間		< 60 秒以内 (@90% 応答時)
ウォームアップ時間		< 90 秒
校正	自動校正	自己基準値補正機能による自動校正 [スイッチにて ON/LOW/OFF を選択]
	現場校正	専用ガスケットによるゼロ点校正 [推奨約 5 年周期]
出力信号		DC4~20mA / 0~10V (3 線式) [スイッチにて選択]
電源電圧		DC20~30V/AC24V
消費電流		< 100mA
動作環境		温度: 0~50℃ 湿度: 0~100%RH (結露なきこと)
ケース材質		ABS 強化プラスチック (UL94-V0)

## 寸法

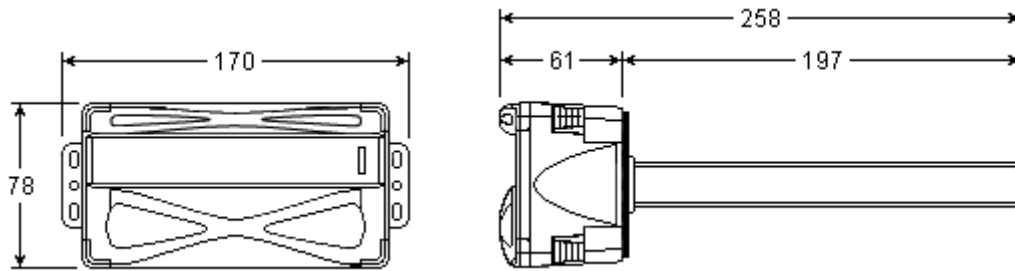


図 1. CDE 寸法図 (mm)

## 設置

### ①取付

- 1) ダクトにプローブ挿入用の穴および取付ネジ用の穴 2 個を開けます。(図 2 参照)
- 2) プローブを回転させて幅の大きい面が風の流れに対して垂直になるようにします。(風の流れ方向の指定はありません。)
- 3) ダクトにプローブを挿入し、本体のガスケット部とダクトを確実に密着させてネジで固定します。(図 3 参照)

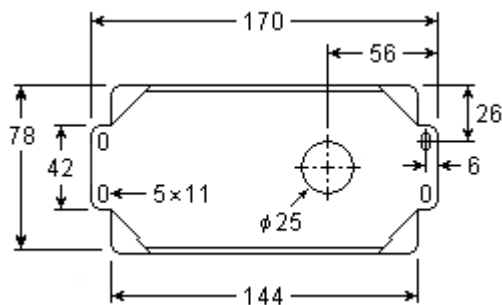


図 2. ベースプレート寸法図 (mm)

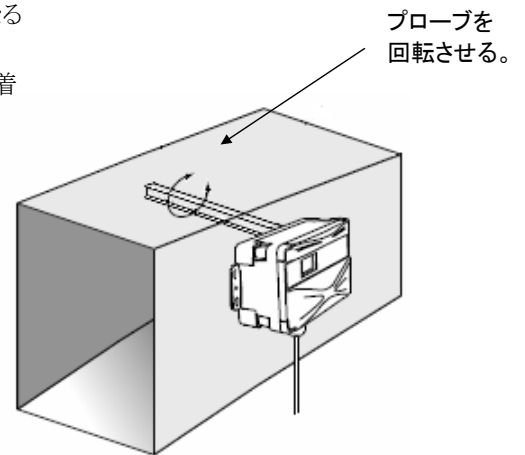


図 3. ダクトへの設置図

### ②配線

- 1) 本体の四隅にあるツメを押込みながらカバーを引抜くように外します。(図 4 参照)
- 2) 本体下部の配線口からケーブルを通します。(図 5 参照)
- 3) 所定の端子へケーブルを接続し外れないことを確認します。
- 4) 配線口を密閉し外部の空気が入らないように確実に遮蔽します。
- 5) カバーを本体に差込み、カチッと音がするまで確実にはめ込みます。

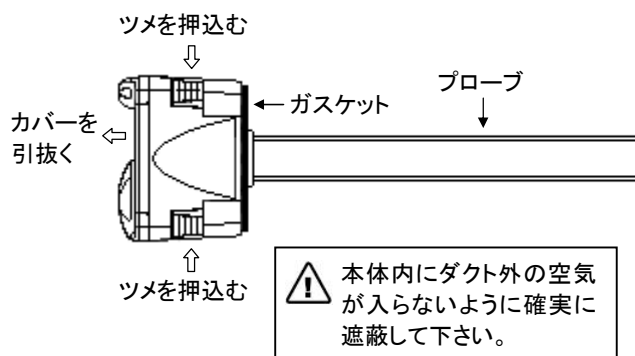


図 4. カバー着脱要領図

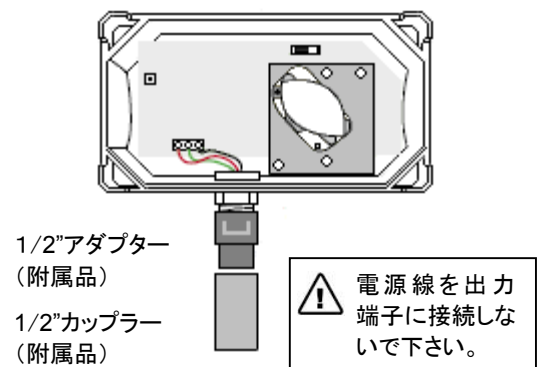


図 5. 配線図

